

# 新時代の学びを支えるICT活用推進事業

## 現状・課題

- 1人1台端末及び校内通信ネットワーク環境の整備完了（小・中・高）
- 授業での活用がスタート
- ▲ **教員の4人に1人がICT活用に不安**  
※児童生徒のICT活用を指導できる教員の割合：75.7%（R3.3文科省調査）
- ▲ **ICT活用に係る学校・教員間格差が存在**  
※ICT支援員のサポートが九州下位
- ▲ **学校や家庭外での1人1台端末の活用環境を整備する声**  
※総合教育会議（R3.5.27）での委員意見

## 国の動向

- ・学校教育法施行規則（R3.8改正）の中でICT業務に携わるスタッフを「**情報通信技術支援員**」と位置づける
- ・成長戦略フォローアップ（R3.6.18）にて「高等学校で2024年度（R6年度）までに社会の多様な人材も含め**ICTに精通した人材の1校1名以上の登用**を目指す」
- ・様々な場面で1人1台端末を活用した学習ができるよう、**図書館等の社会教育施設などでの学習支援を検討**することを各自治体あて通知（R3.3.12付）

## 学校現場や校外での1人1台端末等ICTの効果的な活用を推進

### ICT教育サポーター育成プラットフォームの構築（R3.12月補正+R4当初予算）

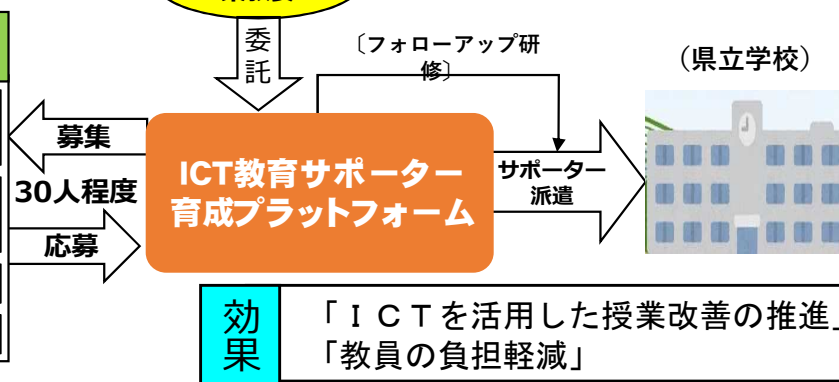
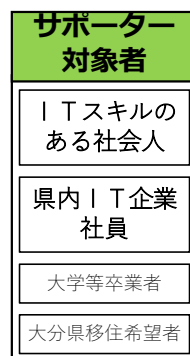
○ ICT及び学校現場に精通した人材を育成し、県立学校へ派遣

#### 【プラットフォーム】

- ・ ICT教育サポーターの募集、採用
- ・ ICT教育サポーター育成研修の企画、実施
- ・ 学校への周知、学校とICT教育サポーターとのマッチング
- ・ ICT教育サポーターのチーム編成、派遣
- ・ ICT教育サポーターへのフォローアップ研修の実施

#### 【ICT教育サポーター】

- ・ 対象：全県立学校（高校、中学、特別支援）計58校
- ・ 体制：チーム（複数名）ごとに週1回（月4回程度）学校を訪問
- ・ 業務：ICTに係る日常的な業務支援、学習支援



**効果**

「ICTを活用した授業改善の推進」  
「教員の負担軽減」

### ○ ICT教育支援アドバイザー（継続）

- ・ 最新の情報通信技術の動向と教育分野への活用について講義、実習
- ・ ICT機器を利活用した提案型の授業作成支援

### ICT活用優良授業チャレンジ（R4当初予算）

○ 授業の優良事例を共有するポータルサイトを開設

- ・ 県内のICTを活用した授業（各教科）の好事例を収集し情報発信
- ・ 教員の授業デザイン（組立て）の参考材料として活用
- ・ 小・中・高・特支ごとの分類、検索機能や「いいね！」機能の導入
- ・ 特に優れた事例については、教師へのインタビューや授業の様子等を編集し公開

### 社会教育施設のWi-Fi環境整備（R3.2月補正予算・繰越）

○ 校外での1人1台端末を安全に活用できる場を増やすため、県立図書館等におけるWi-Fi環境を整備

- ・ 対象施設：3か所（県立図書館、香々地・九重青少年の家）  
※歴史博物館、埋蔵文化財センターは未定
- ・ 対象：県内の全児童・生徒（県立、市町村立、私立全て）

# I C T活用優良授業チャレンジ

## I C T活用授業ポータルサイトの開設

目的：大分県内のタブレット端末や電子黒板、デジタル教材等 I C Tを活用した優良事例を収集し、I C T活用授業ポータルサイトへ掲載し広く周知することで授業改善の促進を図ります。

- 関係各課（義務・高校・特支）と連携し、優良事例の収集、選定を行いポータルサイトに公開。
- 掲載内容は、授業の概要、成果と課題、I C T活用のポイント、使用した機器やアプリケーション、I C Tの活用が伝わる写真。
- 学校種や学年、教科、使用した機器等で容易に検索が可能。
- 閲覧者が事例を評価（「いいね」）、コメントが投稿できる機能を備える。

### <サイトイメージ>



### 今後のスケジュール

7月19日(火)	ポータルサイト開設 既存優良事例100件程度公開
12月	新規優良事例60件程度公開
3月	優良事例実践者インタビュー動画公開



# 社会教育施設のWi-Fi環境整備について

令和4年7月  
(※予定)

## 学校外で学べる場の拡大に向け、 県立社会教育施設で 安全に利用できるWi-Fi環境を整備します



3つの施設で  
安全に快適に  
インターネットを  
使った学習ができる  
ようになります。



県立図書館では、図書コーナーや学習室(全120席)、研修室など、  
香々地、九重青少年の家では、研修室やプレイホール、宿泊棟などで安全にWi-Fi  
が利用可能になります。また、遠隔会議アプリを利用して、活動の様子を学校や家  
庭に伝える事も可能になります。

〔県立学校児童生徒〕

1人1台端末は  
自動でWi-Fi接続



※県立学校と同じセキュリティ環  
境で利用可能

〔県立特別支援学校高等部生徒〕  
〔市町村立、私立学校児童生徒〕

ID・PW  
でWi-Fi接続



※県立学校と同等のセキュリティ環境  
で利用可能

〔一般の利用者は「おんせんおいた  
Wi-Fi」と同じ条件で利用可能  
※フィルタリング有り〕



Wi-Fi





# 令和4年度 1人1台端末を活用した 小・中学生プレゼンコンテスト

あなたの思いや考えをみんなに伝えてみませんか？

## 応募資格

大分県内の  
小学校・中学校・義務教育学校の児童生徒

## 応募部門

①小学生の部 ②中学生の部 の2部門  
テーマは、自由に設定してください  
【過去のテーマ例】  
「なぜ人は悩むのか」「時空を超えた未来への願い」  
「YouTube反対に反対」「私たちにできること」など

## 応募条件

- ①自分たちの思いや考え・調べたこと等を  
1人1台端末を使ってプレゼン資料を作成する
- ②発表時間は5分程度
- ③発表者は個人または3名まで
- ④著作権や肖像権等の対応を適切に行うこと
- ⑤本選に出場したチームの写真や動画は、  
オンラインでの配信や報道機関・県教委の  
広報等で公開されることに同意すること

## 表彰

各部門 優勝・準優勝  
\*賞状、副賞を準備します

## 主催

大分県教育委員会

## 日程

### ○応募の受け付け期間

**7月7日(木)～11月9日(水)**

フォームに必要事項を入力して応募してください

応募フォーム



### ○予備審査データの提出期限

12月9日(金)までに

次の2つのデータを提出していただきます

- ・プレゼンテーションのスライドデータ
- ・エントリーシート

\*提出方法は応募者に連絡します

### ○予備審査結果の発表

1月中旬

本選出場チームを各部門6チーム選出します  
審査の結果は学校を通じてお知らせします

### ○本選

**令和5年2月18日(土)**

会場：大分県教育センター ※オンライン配信  
(大分市大字旦野原847-2)



**まずはチャレンジ!**

詳しくは、Webページで確認するとともに学校の先生に相談してください